

留学報告書

KMITL 日本語教育プログラム（日本語）研修

学部学科・研究科専攻	文学研究科日本文学専攻日本語教育学コース		留学時学年	大学院1年
留 学 先	国	タイ	大学/機関	KMITL
期 間	2025年8月6日 ～ 2025年9月4日			
	短期		計1ヶ月	

[1] 参加したコースの時間数と時間割

・科目名（受講した科目を全てご記載ください）：

【時間割】

時 間	月	火	水	木	金	土	日
9時～12時	○		○	○	○	Free	Free
13時～16時		○				Free	Free

[2] クラス編成や授業方法について教えてください。

（クラス人数、国籍割合、担当の先生、授業方法、使用教材等）

クラスは40人ほど、全てタイ人。会話の先生は日本人、文法の先生はタイ人が担当する。タイ人の先生は殆どタイ語で教えると聞いていたので、日本人の先生の授業しか見てない。日本の日本語教育なら先生の指導がメインで、タイでは積極的に質問し、学生もやり取りがある授業の方が楽しいようで、私にも積極的に声をかけられた。使用教材は『みんなの日本語』と配ったプリント、私の指導教員の山下先生はアクセントを重視し、毎回アクセントの練習もする。

[3] 課外活動や週末の過ごし方について教えてください。

タイの学生は親切で、いつも学校近くの市場や学校内の運動場を誘ってくれ、週末は一緒に色んなところへ行った。タイには有名なお寺が多い、外国人なら200～300バーツの入場料払い、学生証が持っていればタイ人と同じく無料で入れるはずだけど、言語が通じないため結果的に払うことが多い。しかしタイの学生と一緒に行ったら学生と見なされ無料で入れることがある。

また、KMITL は町のようにキャンパスが大きくて、タイの学生と一緒にキャンパス見学の活動がある。2時間回っても行っていない場所があるので、よく散歩で学校のあちこちを回っていた。

[4] 派遣先でよく使った施設について教えてください。(図書館、学生会館、スポーツ施設等)

授業見学で文学部の教室は授業見学の時よく利用する。学校と空港がとても近いので、夕飯の後よくグラウンドを散歩し、夕焼けと飛行機を見るのが気持ちよかった。

[5] 宿舎（寮やホームステイ）での生活について教えてください。

部屋：1 部屋 2 人で使用

様子：2 年前に新しく建てられた寮なので、綺麗だった。ベッド、ロッカー、デスク、冷蔵庫、トイレ、シャワーなど基本のものがあ、ヘアドライヤーと物干しが必要だと思うが、これは自費で買うことになる。日本のヘアドライヤーは変圧器を使っても燃えるので、タイで買った方がいい。寮のセキュリティはすごく厳しく、鍵を忘れると面倒なことになるので、出かける前にチェックが必要だろう。

[6] 留学中に楽しかったこと、苦労したことを教えてください。

● 楽しかったこと：

会ったタイ人は皆優しく親切な方で、言語通じなくても目が合うと微笑んでくれる。

指導教員の山下先生は何でも相談できる方で、初めて会った時、近くの市場に連れて行ってくれて、ドリアンをごちそうしてもらった。私が授業をやりたいと話したら自由にやってくださいと言われ、そして意見もちゃんと伝えて教えてくださるので、とても助かった。

東海オフィスの富田先生は行動力の高い人で、悩みを相談したらすぐ対応して、初めて行く国に頼れる先生がいることで心強かった。まだ、卒業したタイで働いている先輩がわざわざ時間を作ってご飯と一緒に誘ってくれた。KMITL は一週間中間テスト時期があったが、先輩が働いている大学に見学に誘ってくださり、本当にありがたかった。一ヶ月の間、色んな方が助けてくれたことが何よりうれかった。

● 苦労したこと：

寮に入る時すでにもう一人の日本人の子がいたが、寒さが苦手な子のように、暑いタイでもなかなかエアコンをつけないことで悩んだ。富田先生と相談したらすぐ国際オフィスに話してくださり、他の寮が空いた後にすぐ引っ越した。

授業をやる時は色んな準備したが、実際やってみるとやはり多人数のクラスは教えるのが大変と感じた。

学生も元の先生のやり方に慣れているので、一回の授業でペースが乱されたことが気ついた。時間は限りがあるので、やってみたいことがまだ残っていた。

[7] 留学の成果について教えてください

1) 語学力の向上：

この一ヶ月ずっと日本語と英語しか喋れない、英語が口に出る事ができるのが嬉しい！まだ、日本語初級者と日本語を話すことが多いので、自分が普段意識しない間違った文法が意識できた。

2) 専門知識の向上：

授業する前に事前準備をたくさんやったが、初めての経験だったため、そんなにうまくはいかない。1 時間のつもりで準備した授業は 3 時間やっても終わらないことに驚いた。授業後も学生にアンケートを書いてもらったので、この経験を生かして次回は時間配分を徹底的に見直す。

3) 自己成長など

授業後学生にアンケートを書いてもらった。この経験を生かして次はもっと完成度の高い授業ができると嬉しい。また、様々な先生の授業を見学し、真似できる部分を自分のやり方に取り入れ、良い経験になったと思う。

[8] 来年度に留学を希望する学生へのアドバイスをお願いします！

来年度留学を希望する皆さんへのアドバイスとして、まず時期の選び方があります。KMITL では夏に中間テスト期間があり、授業や学生の予定と重なり交流の機会が減るため、冬の方がおすすめします。また、寮生活では基本設備は整っていますが、ドライヤーや物干しなどは自費で準備する必要があり、日本製品は電圧の違いで使えないこともあるので現地購入が安心です。英語が通じにくい場面もあるので、挨拶やお願いのタイ語をいくつか覚え、翻訳アプリを常備しておくとう安心です。親切な先生や先輩が多く、困ったときは必ず助けてくれる環境なので、安心して挑戦してください。

[9] 留学に関する費用の総額について内訳を教えてください。

内訳			金額 （留学時の日本円）
1	短期留学者のみ	旅行会社に支払った経費（授業料、フライト代他）	19万円
2	中期・長期留学者のみ	フライト代	
3	中期・長期留学者のみ	滞在費（寮費など）	
4	教材費		0
5	保険代		0
6	私生活における諸経費（食費・交通費・洗濯費等）		8万
7	個人的な買い物		10万
8	その他（ ）		
9	留学に関する費用（1 から 8 の合計）		37万
10	受給した奨学金（奨学金名： ）		
11	留学に関する費用総額（上記 9 から 10 を引いた額）		37万

